

いしかわ まちづくり View

No. 60

目次

■特集	都市計画道路本町線の完成	1
■	あのまち、このまち“まちづくりめぐり”	
	木場湯公園東園地 起工式	3
	金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業の完成	4
■	センターだより	6

特集

都市計画道路本町線の完成

1 はじめに

平成19年3月に発生した能登半島地震により、穴水町の中心市街地でも住宅地や商店街で大きな被害が発生し、一日も早い復興に向けて、街路整備や土地区画整理など、新たなまちづくりに取り組んできました。

その中で、穴水町の目抜き通りであり、復興のシンボルロードとも言える都市計画道路本町線については、良好な街並みの形成と防災力の向上を図るため、平成19年に無電柱化事業に着手し、令和3年12月に全区間L=510mが完成しました。



▲整備前



▲整備後



▲まちなか再生の取組み

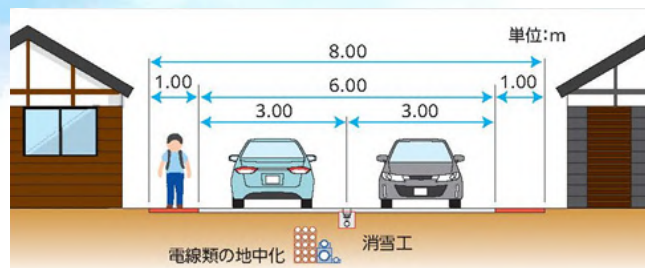
2 事業概要

路線名：都市計画道路 本町線

事業箇所：鳳珠郡穴水町字大町～川島地内

延長：L＝510m

幅員：W＝8.0m（車道3.0m×2、路側帯1.0m×2）



▲標準断面図

3 穴水町まちなか再生協議会

地元住民が中心となり「街なみ」や「賑わい」の創出を目的として平成20年3月に「穴水町まちなか再生協議会」を立ち上げ、震災をばねに中心市街地の活性化に向けた取組みを進めてきました。

毎月1回の定例会議では、本町線を軸としたまちなか活性化策の検討を行っており、これまでに地物の野菜などを販売する「ふれあいテント市」や、穴水に縁のある天文学者ローエルにちなんだ夜間イベント「カフェ・ローエル」、商店街の賑わい創出のための「ハロウィンパレード」や「まちゼミ」の開催、回遊性を高める「まちあるきマップ」の作成などに取組んできました。

また、「穴水町まちづくり協定」を策定し、沿道やその周辺区域が一体となった良好な景観形成を図ることとしております。



ふれあいテント市

カフェ・ローエル



ハロウィンパレード

▲各種イベントの様子



▲穴水町まちづくり協議会

4 完成を祝う会

令和3年12月5日には、穴水町まちなか再生協議会主催による「本町線完成を祝う会」が、石川県知事、穴水町長など多数の関係者列席のもと、復興のシンボル施設である「さわやか交流館プルート」で盛大に執り行われました。



▲完成を祝う会

5 おわりに

今回の本町線の完成により、地震からの復興に向けたハード整備は概ね完了しました。

一方で、まちづくりを議論する場として「ふれ愛 wakuwaku サロン」が月に1度のペースで開催されています。サロンでは商店街や地元のみならず、穴水町地域おこし協力隊のメンバーも参加し様々な角度から、まちなかの賑わい創出に向けた検討を行っており、今後の活動が期待されます。

【問合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL:076-225-1758

E-mail:toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

木場潟公園東園地 起工式

1 はじめに

木場潟公園は、県内で唯一自然のままの姿で残された潟の自然と優れた水郷景観を保全するとともに、県民の憩いの場として、現在では年間約 80 万人の方々に利用されています。

潟の東側に広がる丘陵地「東園地」は、これまでの水郷に里山の魅力を加え、木場潟公園のさらなる魅力向上と一層の利用促進を図るため、平成 30 年に事業に着手しました。



▲木場潟公園東園地位置図

2 整備概要

東園地の整備にあたっては、(株)小松製作所の協力を得て、里山を「学び」「遊び」「体験」ができる「新たな里山再生のモデル」となる公園として、約 16.4ha の整備を進めており、新幹線開業の一年前となる令和 5 年春の一部供用を目指しています。

本園地では、コマツと連携した取り組みを発信し、活動拠点となる建物を整備します。

(1)「里山交流ハウス(仮称)」

県産木材をふんだんに使用し、コマツ提供の温泉水を活用した足湯や園内で収穫された野菜を提供するカフェを設ける予定です。



▲里山交流ハウス(仮称)

(2)「農業体験ハウス(仮称)」

コマツと共同で開発した地下水冷房装置を活用し、年間を通してトマト等の収穫体験ができる施設です。



▲農業体験ハウス(仮称)

(3)「里山資源再生ハウス(仮称)」

園内で発生する間伐材をチップ化、燃料となるペレット製造までの一連の過程を実演し、資源の循環を学べる施設です。



▲里山資源再生ハウス(仮称)

3 起工式

これら建物や園地の本格的な工事着手にあたり、知事をはじめ関係者多数ご列席のもと、本年 10 月 16 日に起工式を執り行いました。



▲起工式 鍬入れの様子

4 おわりに

東園地の整備により、木場潟公園は水郷と里山という二つの魅力を兼ね備えた、南加賀地域の観光交流拠点として、県内外から多くの方にお越しいただけるものと期待しています。

【問合わせ先】

石川県土木部公園緑地課

TEL:076-225-1772

E-mail:e251800a@pref.ishikawa.lg.jp

金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業の完成

1 はじめに

金沢市の都心軸である「金沢駅通り線」に面するとともに、市指定史跡である西外惣構に隣接し、歴史資源に恵まれた金沢駅武蔵南地区において、平成29年度より事業を推進してきた市街地再開発事業の施設建築物が完成しました。



2 事業概要

事業名：金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業
 施行者：金沢駅武蔵南地区市街地再開発組合
 事業期間：平成29年度～令和3年度

3 施設建築物の概要

用途：クリニック・薬局・共同住宅(138戸)
 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 18階建て
 敷地面積：2,354 m²
 延床面積：17,969 m²
 工事期間：令和元年7月～令和3年9月

4 施設計画の特徴

当地区は、主要幹線である金沢駅通り線と金石街道線に挟まれ、西側には歴史的遺構である金沢城惣構跡があることから、全周にわたって景観への配慮が強く求められました。

そのため、共同住宅の駐車場の配置に苦慮しましたが、機械式立体駐車場を建物に内包した平面計画とすることで、この問題を解決しました。

また、地区内の市道を集約し、辰巳用水に沿って遊歩道を再整備することで、歴史と緑あふれる魅力的な都市空間となりました。



▲ 歩行者に配慮したアーケード



▲ 緑あふれる遊歩道



▲ エントランスホール



▲ ラウンジ

5 周辺整備

当事業に合わせて周辺整備工事が行われたことで、事業効果の促進が図られました。

(1) まちなか辰巳用水整備工事

従前は、架橋され全景を見ることが出来ない状況でしたが、修景整備により、歴史を身近に感じることができる空間が創出されました。

(2) 安江町無電柱化工事

電柱や電線が無くなったことで、安全で快適な歩行空間が確保され、景観が向上しました。



▲ 修景後の辰巳用水と無電柱化された市道

6 おわりに

本施設が完成したことで、建物の老朽化や低未利用地の混在による活力低下など、長年にわたる地区の課題が解消されました。これから、本施設を中心に地域や世代を超えた交流が促進され、活力ある地域づくりが行われることを期待しております。

【問合わせ先】

金沢市都市整備局市街地再生課

TEL:076-220-2676

E-mail:shigaichi@city.kanazawa.lg.jp

センターだより

～「まちづくりシンポジウム in 野々市」を開催しました～

■ まちづくりに必要な視点や考え方を学ぶ

いしかわまちづくり技術センターでは、住民主体のまちづくり活動への支援やシンポジウム・研修会の開催など、まちづくりに関する様々な活動をサポートしています。

今回、その取り組みの一環として、市制施行10周年を迎える野々市市において、「市民が活躍し続ける“まちづくり”と“賑わい創出”」をテーマに、「まちづくりシンポジウム in 野々市」を開催しましたので、ご報告させていただきます。

■ 開催概要

- 開催日：令和3年10月2日（土）
- 場 所：野々市市文化会館フォールテ
- 内 容：基調講演及びパネルディスカッション



▲ 会場の様子



▲ 市長挨拶

■ 基調講演

基調講演では、金沢工業大学准教授の山田圭二郎氏に「地域の『物語』を紡ぐ～市民が主役のこれからのまちづくり～」と題してご講演いただき、公共空間の活用方法などについて、国内外の事例を交えてお話いただきました。



▲ 基調講演の様子



■ パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、野々市市観光物産協会事務局長の柘谷泰裕氏をコーディネーターにお迎えし、「魅力的なまちをつくる“ヒト”と“コト”のシンフォニー」をテーマに討論を行いました。

パネリストは北国街道を中心に地域の賑わい創出を目的とした様々なイベントを主催してきた野々市の市実行委員会の小松氏や、北国街道の老舗和菓子店「ふがく堂」を事業継承された建築士の松尾氏など、市内で活躍している若手からベテランの4名の方々と、野々市愛溢れるパネリストと会場の参加者が一体となり、大変熱のあるパネルディスカッションとなりました。



▲ パネルディスカッションの様子

■ 参加者の声

- ・皆さんの地域愛が素晴らしく熱意があり、意外な発想があったり、苦労話から成功へ繋がっていく話がとても楽しく、興味深く聞くことが出来た。これから野々市を盛り上げるイベントにチャレンジする方達に、今日の話は後押しになったと思う。市民協働のまちづくりが具体化しているのがよく分かった。
- ・シェアキッチンが夢を叶える場所だと改めて思った。
- ・皆さん愛と信念を持って主体的に色々なチャレンジをされていてバイタリティがすごいと思った。自分ももっと地域に関わったりチャレンジしないと、と思った。

■ 動画配信（野々市市公式 YouTube チャンネル）

シンポジウムの全編を動画配信中です。センターホームページからもご覧いただけます。

編集後記

今回は、都市計画道路 本町線（穴水町）の完成について特集しました。能登半島地震で大きな被害を受けたことを契機に、県・町・地元が一体となって中心市街地の整備や賑わい創出に向けた取組みが活発に行われています。魅力がいっぱい「じんのびなまち」穴水商店街で、のんびり憩いの時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

当センターでは、皆さまのまちづくり活動を支援するとともに、まちづくりに関する情報発信に努めています。是非、お気軽にお問い合わせください。

編集協力：石川県（都市計画課、公園緑地課）、金沢市
発行：公益財団法人 いしかわまちづくり技術センター
TEL：076-239-1616 FAX：076-239-1606
HP：<https://www.machisen.jp/>
発行日：令和3年12月